

クスノキ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒730-0853
広島市中区堺町一丁目二九三〇三

TEL (〇八二) 二三五三〇五〇
FAX (〇八二) 二三五一〇五二
e-mail
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

会社の不当労働行為を労働委員会の場でただす

興国産業支部の闘い、広島県労連大会で支援を訴え

武田喜成書記次長は県労連幹事に再任されました

九月二二日(土) 広島県労連第36回定期大会が開催されました。大会にはリアル現地参加とオンライン参加合わせて九九人が参加、建交労からは代議員五人(うち二人はオンライン参加)と福山地区労会議の代議員一名の合計六人が参加しました。

午後からの討論では、山田昭夫書記長が建交労興国産業支部の昨年三月に組合結成して以降の闘いの現状を報告するとともに、会社・社長の不当労働行為(一方的な賃金引下げ、不誠実団交など)をやめさせるため、県の労働委員会に申し立てを行い、団体交渉とともに、労働委員会でも闘う決意と支援を要請しました。

《山田書記長の発言の要旨》

昨年建交労興国産業支部を立ち上げて、昨年の大会では、門田久弘委員長が組合結成とそのきっかけとなった社長のパワハラを訴えました。あれから一年たちますが、組合を嫌悪する社長の報復により、仕事をさせてもらえず、兵糧攻めで給料が一〇万円位下がり、昨年の年末に何とかしなければと、残業代の未払いがあるのではないかと弁護士に相談し請求をお願いしました。今年に入ってから団交の場で社長が「あなた達に残業させると弁護士から未払いを請求されるから残業させられない。」と言い出し、仕事をさせない様になりました。

給料が半分になった事で組合員が悲鳴を上げ、貯金を崩すだけにとどまらず、生命保険まで解約しても足りなくなりました。今年に入って仲間が相次いで会社を去りました。



四者協議が行われた9月6日、「日鉄呉跡地の軍事拠点化許さない」と市民にアピールする労働者と市民団体のみなさん。(八丁堀交差点)

社長はこの上さらにやりたい放題。七月になり、門田委員長に対し何の根拠もなく「睡眠時無呼吸症候群」の検査を受けるよう業務命令を出し、結果は「軽症で治療も必要ない」と医者に言われましたが、社長は「産業医の判定が出るまでは乗務はさせられない」と強制的に休みを取られました。産業医から8月初めに「運転に支障なし」の判定が出されたため元の運転業務に戻ることができましたが、このような理不尽な相次ぐ不当労働行為は許すことはできません。県の労働委員会に申し立てを行いました。はじめに報告しました通り、団体交渉も行いながら、並行して労働委員会への申し立てを行いました。労働委員会の審問は一〇月中の予定です。支援傍聴をよろしく願います。

なお、役員選挙では、神部泰議長、植永光則事務局長が再任されるとともに、建交労広島県本部書記次長の武田喜成書記次長が幹事に再選されました。

(写真上は来賓あいさつするヒロシマ総がかり行動代表の石口俊一弁護士と再任され挨拶する武田書記次長・九月二二日)

徒然草

今年の元旦に大地震に見舞われた能登地域が、地震からの復興の最中に、今度は集中豪雨に見舞われ、大きな被害が発生した。まさに泣きつ面に蜂のようである。広島も二〇一四年と二〇一八年に豪雨被害を受けたことはまだ記憶に新しい◆いま世界は一〇年に一度ではなく毎年どこかで大雨災害が起きている。まさに「気候危機」という状況。南極や北極の巨大な氷河や氷床の融解が進み、二〇世紀の一〇〇年間で世界の平均海面水位は17センチ上昇したと言われている◆日本も例外ではなく、つい先日のテレビニュースでも、2050年頃には大阪湾はおよそ30センチ水位が上昇すると耳にした。「国連が今年8月に公表した報告者によると、このまま温室効果ガスの大量排出が続けば、20年〜50年の間に東京沿岸で13センチ、大阪では27センチ上昇すると予測される」(毎日新聞・九月一日)との記事も◆人類はいま「人新世」(人類が地球を破壊しつつす時代)に生きている。ではこれを食い止めるために何をなすべきか。「CO₂排出量の少ないエネルギーや交通手段を選ぶこと、一人一人の力は無力に見えても地球上に住む一人一人が取り組めば大きな力になる」(スイス連邦工科大学チューリヒ校・木村あつむ名誉教授)と言われている。戦争は最も地球を破壊し、温暖化を加速させるものだと思う。(M)

不当排除しないよう徹底を！白ナンバーダンプはダンプ持ち労働者 ダンプキャラバンで地方整備局、広島県、広島市に要請 静岡ダンプ高橋書記長が参加、白ナンバー排除阻止の体験を指導



写真上は中国整備局で要請書を手交する小林議長、と広島県庁に要請する広島ダンプ支部の参加者
(高橋書記長撮影)

ダンプの賃金は「経費込みの労務費」

建交労広島ダンプ支部（議長・小林豊数）は八月二六日（月）にダンプキャラバンを実施しました。午前中は建設省中国地方整備局と広島県、午後は広島市への要請懇談を行いました。今回のキャラバンには、静岡ダンプ支部の高橋立顕書記長（全国ダンプ部会長も兼任）と小林豊数広島ダンプ支部議長、岩男広昭副議長、武田喜成事務局長など5人が参加しました。

ダンプ労務費の「標準常用単価」を設定するよう上申します（整備局）

中国地方整備局へのキャラバンでは、国会でも審議されている「建設業法及び公共工事の入札契約の適正化の促進に関する法律の一部改正法案」との関連で、車持ちダンプ労働者の賃金は「経費込みの単価」であること、「二省協定労務費単価」は13年間引き上げられているにもかかわらず、ダンプ持ち労働者の受け取る賃金は、ほとんど引き上げられていない現状について行政側の認識をたずねるとともに、標準労務費の設定について「標準常用単価」を設定するよう本省に上申するよう要請しました。

これについては、整備局側は、「本省に上申します」と回答しました。

自家用ダンプカー排除はダンプ規正法違反

静岡での具体例を挙げて、説明。（県庁）

建交労加入ダンプは「12条団体等」にもと

づき優先使用団体であることを徹底します

また広島県への要請では、静岡ダンプの高橋書記長より白ナンバーダンプ排除の具体的な例として、静岡県発注工事で組合員の白ナンバーダンプが、発注者である静岡土木事務所の「無知」ともいえる指導により、排除されなかったが、組合が強く抗議して「徹底させてなくて申し訳ない」と撤回させたことを「ニュース」も示して説明しました。

公共工事を請け負う際の「設計図書」の中「現場説明書・指導事項」にもとづき「ダンプ規正法」の「12条団体等の使用促進」にもとづき建交労加入の自家用ダンプは「ダンプ規正法」に規定する「12条団体等の使用促進」のダンプであることを、元請け会社に徹底することをかさねて要請。武田事務局長が、後日詳しく説明に行くことも確認しました。

建交労広島県本部

第二六回定期大会

○とき 一〇月五日（土）

午後一時より四時まで

○ところ 広島市中区袋町「ひと・まち交流プラザ」北館六階

「マルチメディア実習室」

●今年の大会も土曜日に設定しましたので、参加者は、間違いないようお願いいたします。

今後の組合行動日程など

- 九・二八 ヒロシマ労連定期大会
(午後一時市民交流プラザ)
- 九・二九 広島県労学協総会と記念講演
(午後一時ロードビル)
- 九・三〇 「いの健」広島センター総会
- 一〇・五 広島県本部第26回定期大会
(午後一時・市民交流プラザ)
- 一〇・八 中国市長会要請（尾道市）
- 一〇・九 69行動（金座街入り口）
- 一〇・一八 県労連・ヒロシマ労連組織拡大交流会
(午後六時半・ロードビル)
- 一〇・一九 事業団・介護ヘルパー活動全国交流会
(二〇日新潟)
- 一〇・二二 建交労中央執行委員会（二二日）
- 一一・三 国民大運動県民集会（平和公園噴水前）デモ行進
- 一一・五 総がかり行動集会（弁護士会館）
- 一一・七 建交労中央行動
- 一一・七 ゼネコン本社要請行動（八日）
- 一一・二三 建交労中央春闘討論集会（二四日）

お知らせ

※県本部の「クスノキ通信」は毎月二五日付で発行しますので、ご協力お願いします。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近なこと何でも、ファクスや、「メール」でお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。

ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp
Fax 〇八二―二三五―三〇五二